

ヒトはどのようにことばを獲得したか —ことばの発達と指導の実際—



講演内容 (講師コメント)

「ことばとところをはぐくむ」

どうしてヒトだけがことばを使えるようになったのか？赤ちゃんはどのようにしてことばを獲得し、4歳頃には普通に喋れるようになるのか？頭を打ったり、脳梗塞が起こると、どうしてもうまく喋ることができなくなるのか？・・・など、ことばには不思議がいっぱい詰まっています。

人類は気が遠くなるような時間をかけて「話ことば」を獲得し、その後また長い年月が過ぎ、やっと一万年程前に「書きことば」を獲得しました。

①聴覚などの生物学的側面を基礎にし、②乳児期から育ってくるコミュニケーション能力を使い、③認知機能の発達を土台にして、話しことばは幼児期に獲得されます。視知覚など感覚や神経系の成熟がさらに進む中で、学童期には「書きことば」の習得が始まります。「話しことば～書きことば」の獲得と「ところ」の発達を見ながら、ことばを使うことがちょっと苦手な発達障害児や構音障害児の支援方法等について、一緒に考えたいと思っています。

また後半は皆様が抱えている課題や興味に関して、例えば「読み書き障がい」「発声・発語指導」「アタッチメント(愛着)障がい」など、2～3のグループに分かれて、話し合いが出来ればと考えています。是非ご参加ください。

講師紹介

さくらクリニック

小児リハビリテーション科

言語聴覚士

酒井 俊一

<資格>

- ・言語聴覚士
- ・公認心理師

<共著>

- ・障害児教育に生かす心理学
- ・障害のある子どものための体育
- ・障害児の感覚運動指導

- 日程** 令和元年6月29日(土)
- 時間** 10:30～16:30(受付 10:00～)
- 会場** 和歌山県労働福祉会館 プラザホープ
4階ホール AB
(和歌山市北出島 1-5-47)
- 対象** 発達障害児(者)およびその家族、
それに関わる専門職種
- 定員** 70名 ※要申込
(定員を超えた場合は、抽選とさせていただきます)
- 申込方法** メールまたはFAXにて受付
※申込方法詳細は別紙参照 (締切: 6/19)
- 参加費** 500円 (資料代として)



主催：医療法人さくら会 さくらクリニック
後援：和歌山市教育委員会・海南市教育委員会・有田市教育委員会

お問合せ：さくらクリニック リハビリテーション科 (小児)

TEL 073-488-1192 FAX 073-488-1212 メール reha-syouni@sakuraclinic.org